

# こぼと 2組 クラスだよ！ 5月



## クラスで取り組んでいること

- \* 荷物を丁寧に扱えるようにする
- \* 外遊び後や昼食前の手洗いうがいの徹底
- \* こまめな水分補給を心掛ける

## 今月の歌

♪ おさんぽ日和  
おさんぽにいこう ドンドン みんなしていこう ドンドン  
おてんきもよくて ドンドン おさんぽびより ヤー！  
こいぬがしっぽをふってるよ たんぼのはなさいてるよ  
おひさまだつてついてくる おさんぽはいいな

## 今月の聖句

「安心して行きなさい」  
(マルコによる福音書 5章34節)

## 今月の賛美歌

♪ やさしいめが  
1. やさしいめが きよらかなめが  
きょうわたしを みていてくださる  
「まっすぐにあゆみなさい」と  
みていてくださる  
2. おおきなてが あたかいてが  
きょう わたしをささえてくださる  
「はなれずにあるきなさい」と  
ささえてくださる



段々と気温も温かくなり、外遊びが気持ち良い季節になってきましたね。「新しい靴買ってもらったから鬼ごっこしよう！」「一緒に虫探ししよう！」と私に声を掛けてくれる子も増え、進級時に抱えていた不安な気持ちが、少しずつ安心感へと変わり始めているのではと嬉しく思いました。ある日の鬼ごっこ中。初めは少人数でしていた鬼ごっこに、「入れて！」とどンドン遊びの輪が広がり、いつの間にか違う学年の子も交えて遊ぶ姿がありました。こぼと組だけでの鬼ごっこは、鬼を決めるだけでも時間がかかる事があるのですが...。年長組の子が来ると、年長さんが輪の中心になり「次は何をするか」「誰が鬼をするか」等も子どもたちで話し合いが始まります。「片足真ん中に出して！」と言われるがままに足を出し「いろはにほへど」で鬼を決める様子もありました。(笑)このような異年齢での関わりを沢山経験を積み重ね、社会性や協調性が育まれ、憧れを持ち成長していくのだろうと感じました♡

↑いろはにほへどで鬼決め中。(白帽子がこぼと組です！)

## 冬眠を終えた虫たちがいっぱいいたよ！



↑皆で仲良く観察中...

外遊び中にてんとう虫を発見！小さいてんとう虫に「可愛い」「ちっちゃい」と皆も興味津々になる様子が♡「赤に黒の点があるからこの子はいちごちゃん！」と名前を付けたり、てんとう虫の種類を調べるために、子どもたちでも見やすいポケット図鑑で調べてみたりと、様々な楽しみ方をしていました！手に乗せるときは「ぎゅっと捕まえるより、てんとう虫の進行方向に手を持っていくと良い」と伝え、みんなそつと手を差し出していました♡手の上に乗ると「くすぐったい～！」と言いつつも、すごく喜んでいました♡手に乗せることが怖い子は、私が葉っぱに乗せていたのを見て「葉っぱ拾ってきたよ！」と。周りからの刺激や気付きも沢山あるのだろうと感じる出来事でした。

## 切って貼って遊ぼう！

こぼと組になり初めてののはさみをのりを使った活動をしました！自分で好きな色の画用紙を切り、切った画用紙を折り曲げる子も！立体に貼り付ける子もおり、個性溢れる作品が出来上がりました！持ち帰った際には、ぜひお話を聞いてあげてください♡



↑ハサミではなく、紙を動かして切ります！↑糊をはみ出さないように塗っています！

## 待ちに待ったいちご狩り！



こうさぎさんを迎えに行き、手を繋いで畑に出発！↓

スマック脱ぐの手伝ってあげる...！



こうさぎさんのスマックを畳んであげています！↑

5月になり、子どもたちが楽しみにしていたいちご狩りの日。1回目は畑に行くことが急遽決まり、猛スピードでおもちゃを片付け、いちご狩り出発！連休を挟むため、赤いイチゴは全て食べて良い事になり「やったー！食べ放題やー！！」と大喜び。楽しい時間を過ごすことができました♡そして、2回目を終え、なんと3日目はこうさぎ2組さんと一緒に行くことに。「こうさぎ2組さん、列で歩くのまだ難しんやうて。だから皆が手つないで一緒に歩いてあげてほしいなあと思うねんけど、どう？」と伝えると、「分かった！いいよ！」とやる気満々！！ペアになった子の手を離さないようにと、子どもたちなりに、こうさぎさんのことを思いやり頑張る姿がありました...♡今までは幼稚園の一番小さい組だった子ども達ももうこぼと組。今まで「やってもらったこと」を次は「やってあげるばん」になり、「手伝ってあげた」という経験が自信に繋がったのではないかと思います！

## ペットボトルのキャップで何が出来る？



金色と銀色のキャップはお宝にしよう！

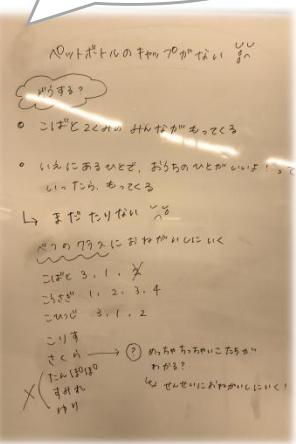
赤いキャップを使ってろうそくに見立てていました！↓



倉庫にあったペットボトルのキャップで何かできないかなあと始まったキャップ積みあそび！子どもならではの柔軟な発想で、様々な形に積み上げることを楽しんでいました♡遊び込んでいると、いつの間にかキャップが無くなってしまい、廃材の倉庫に取りに行き、各クラスに訪ねていき...とキャップを求めて探検に行くことも(笑)それでもなかなかキャップが増えず困っていると...お家にあるキャップを持ってきてくれる子もいました！(「キャップが必要なんだ」と家族のみんなに飲み物を勧める子もいたようで...ご協力ありがとうございました♡)それでもまだほしいということになり、「幼稚園には無い」「お家にも無い」となり、何か方法がないかを皆で話し合うことに...

すると、「じゃあこぼと3組さんをお願いしに行く！」という案が出ました。「こぼと3組さんだけでいい？」と子どもに質問すると「あとこぼと1組さんも」「こうさぎ1組さんも」「こひつじ...もう全部！」と全クラスにお願いしに行くことに！何組があるかを子どもたちと話していくと、さくらさんや、たんぼぼ組やすみれ組のこども園クラスの名前も出してくれました(笑)そこで、「こども園のクラスに行っている子は、幼稚園のお部屋で過ごした後に移動しているから行かなくても皆に伝えられているはず」ということと「さくらさんは皆よりもっとちっちゃい子たちだよ」ということを伝えてみました。すると「じゃあ、さくらさんは分からんかもしれんから先生にお願いします！」「たんぼぼさんとかはやめる」と相手(私)の意見も理解し、改めて考え直す姿がありました。自分の考えだけでなく、相手の意見にも耳を傾け、思い直すことができるのは、きっとこうさぎの頃に、自分の気持ちを表現し受け止めてもらった経験があったからなのだろうと思いました。行くクラスが決まったところで、次は誰が行くかという話し合いになり2人ずつで行くことに決定！「紙に描いていたら言うこと忘れへんで！」という声からお手紙も作るようになりました。普段のように廃材が足りないときは、シルフで保護者の方々にご連絡をすれば、きっと保護者の方のご協力で沢山のものが集まると思います。しかし足りない→保護者の方へ連絡するという考えだけでなく、子どもたちにも困っていることを共有したことで、相手の思いを理解しようとする気持ちや協調性、自分の思いを相手に言葉で伝える力等が育まれたのではないかと思います...♡

話し合いの内容...



## ムクロジの実って不思議だね！



アワアワになってきたー！

子どもたちが大好きなムクロジが森にたくさん落ちていました！バケツいっぱい集めて、皮を割って水を入れるとアワアワに♡作った液を数日置いておくと、少しとろみが出て、シャボン玉遊びもしてみました！シャボン液より繊細ですが、何度も挑戦し、そつと息を吹くと大きなシャボン玉ができて大喜びでした♡

